

鏡視下/直視下肩腱板修復術 治療計画表

患者 _____ 殿

医師 _____
看護師 _____

薬剤師 _____
管理栄養士 _____

理学療法士 _____
パス開始日 _____

日付	入院日	手術当日		術後 1日目	術後 2日目	術後 3日目	術後 4~6日目	術後 7-14日目	術後 15日目	
		術前	術後							
達成目標	手術の必要性が理解でき、不安や疑問点を聞くことができる		術後、嘔気や呼吸苦があれば知らせることが出来る							
			創部からの出血やしびれなど異常があれば知らせることが出来る 装具を装着した生活が送れる 行動範囲の制限、創部の動かせる範囲を守ることが出来る							
点滴			点滴をします 							
内服	持参薬の確認をします 	内服は休薬します (麻酔科医師の指示で内服する場合があります)			内服を再開します 					
処置			車椅子に乗車するまで、血流を良くする機械を足に装着します			創の処置をします 		術後7日目以降に抜糸します 		
			酸素吸入をします	朝酸素を中止します						
			患部を冷やします(6日まで)							
			装具を装着します							
検査	必要に応じて血液検査があります 	レントゲン検査があります 必要に応じて血液検査があります		血液検査があります 			術後5日目に血液検査があります 	術後14日目に血液検査とレントゲン検査があります		
検温		術前に伺います	術後は必要に応じて伺います		4回伺います	3回伺います	2回伺います	 1回伺います		
安静	自由に動けます		ベッド上安静です 頭元を少し高くします 		装具を装着して、自由に動けます 装具は24時間外せません 手術をした方の手で体重を支えたり、重たいものを持つてはいけません 					
清潔	爪きりをします シャワー浴が可能です	口腔内をきれいにします 	体を拭きます(週2回) 髪を洗います(週1回) 尿の管を抜くまで陰部を洗います 		看護師の補助のもと、体を拭きます					
排泄	尿管が入っています 尿管が抜けたらトイレで排泄できます 		尿管が抜けたらトイレで排泄が可能です 							
食事	状態に応じた食事ができます	絶飲食です	絶食です 主治医の許可があれば飲水できます 		朝より食事再開です 					
リハビリ	必要に応じて状態を確認します	リハビリは休みです			リハビリをします					
その他	麻酔科医師の診察があります 手術室の看護師より説明があります 退院について相談します	医師より術後の説明があります		必要に応じて転院調整を行います			退院時に看護師より説明があります 			